

北海道食虫植物情報 "NEPENTHES" 総目次

No.	題目	刊行
1	誌題ネペンテスNEPENTHESのことについて 本誌NEPENTHES刊行の趣旨について ほろびの運命背負う北海道の食虫植物 急変する勇払原野の自然環境	1992.07.04
2	北方千島四島返還運動の問題点 - 公害列島日本再び千島で 南千島の食虫植物	1992.07.28
3	北海道の湿原 - 分類・規模・数・今後の発見の可能性 別寒辺牛湿原に関する調査報告書の紹介 千歳川放水路問題を報告	1992.10.18
4	北海道の湿原 (2) - 美競う食虫植物の花々 (弁天沼湿原)	1992.10.21
5	北海道の湿原 (3) - 奇跡的再確認のナガバノモウセンゴケ (旧浜頓別の高層湿原)	1992.10.22
6	北海道の湿原 (4) - 別寒辺牛高層湿原 七十年前に既に発見・調査 (修正されるべき高層湿原研究史・別寒辺牛高層湿原発見史)	1992.11.15
7	北海道の湿原 (5) - 原始の姿横たえる中山湿原群	1992.11.16
8	サロベツ湿原における食虫植物の分布図	1992.11.20
9	北海道の湿原 (6) - 四季を色どる中山湿原	1992.12.30
10	食虫植物を中心としてながめた指定植物について 新篠津湿原その後の姿 急変する勇払原野の自然環境 (2) WALCOTT M. V. 御存知ですか 食虫栽培	1993.01.01
11	北海道の湿原 (7) - エメラルドグリーンの湖水・隣接する湿原群 (オコタンペ湖湿原群の紹介) 胆振支庁ホロホロ山の湿原 世界の食虫植物を展示～釧路市立郷土博物館～	1993.01.25
12	北海道の湿原 (8) ～北海道北部山岳帯 ピヤシリ湿原～ アフリカナガバモウセンゴケ 2 株に奇形生ず	1993.01.31
13	日本最南限のコタヌキモ～その開花への疑問 北方領土について考える 自生地踏査のもどかしさ 宮島沼のタヌキモ	1993.02.10
14	北海道東部十勝のタヌキモ 2 種あるいは 3 種分布 ?	1993.04.12
15	北海道産の食虫植物の培養 - 戸外栽培と冬期の室内観賞用 - ムシトリスミレの最も簡単な培養法の紹介 病害治療 - 瀕死のセファロータス ウドンコ病を目薬で治療 京都市だより	1993.05.11
16	北海道の食虫植物の培養 (2) ～ミミカキグサ類・タヌキモ類・モウセンゴケ類 北海道での栽培に適した外国産の食虫植物 (1)	1993.05.15
17	北海道の食虫植物の培養 (3) ～ナガバノモウセンゴケを中心として 千葉県茂原だより	1993.06.20
18	生物学発展初期に紹介された食虫植物の英名～松村任三の本草辞典より～	1993.07.20
19	北海道の湿原 (9) ～長万部町 静狩湿原 過去	1993.08.08
20	北海道の湿原 (1 0) 承前・長万部町 静狩湿原 過去	1993.08.10
21	北海道の湿原 (1 1) ～長万部町 静狩湿原 現在編	1993.08.11
22	北海道の湿原 (1 2) ～長万部町静狩湿原開発余話～ 北海道での栽培に適した外国産の食虫植物 (2) - 実験培養イトバモウセンゴケ -	1993.08.13
23	冷夏と食虫植物 京都市の齋藤央氏より タヌキモ属の培養ガイド	1993.10.28
24	北海道の湿原 (1 3) ～勇払原野・厚真川周辺の湿原について～	1993.10.31

No.	題目	刊行
25	幻の北海道植物図譜～戦時の混乱時局の悪化で未刊 平成の北海道植物図譜 北海道での栽培に適した外国産の食虫植物(3)～実験培養フクロユキノシタ～	1993.10.31
26	北海道の湿原(14)～勇払原野安平川周辺の湿原(奇跡的に残った柏原東湿原)	1993.11.05
27	現存絶滅別北海道のミミカキグサ類	1993.11.07
28	承前・現存絶滅別北海道のミミカキグサ類 タヌキモ科植物 貴重な情報いただく～道央関係分～ 北海道での栽培に適した外国産の食虫植物(4)～実験培養 <i>Drosera ericksonae</i>	1993.12.07
29	鳥たちは天使～石狩浜のタヌキモ	1994.01.07
30	日本の水生タヌキモ科植物の分類上で先鞭をつけた幻の文献～北海道泥炭地植物目録～	1994.01.08
31	旧東野幌湿原での珍事～淡水産貝類に食われて増殖するタヌキモ 北海道での栽培に適した外国産の食虫植物(5)～実験培養 <i>Drosera hamiltonii</i> C. R. P. Andrews	1994.01.15
32	石狩浜の植物～人造の沼に育つ希産種など	1994.01.16
33	ミミカキグサ類の繁殖について 最近図書館で見た道内関係の文献紹介	1994.01.16
34	樺太食虫植物史資料(1)～地理的探検・物産調査時代から食虫植物の分類学的記録のはじまりまで～	1994.01.16
35	樺太食虫植物史資料(2)～承前・地理的探検・物産調査時代から食虫植物の分類学的記録のはじまりまで～	1994.01.17
36	樺太食虫植物史資料(3)～明治時代編 シュミット著 <i>Reisen In Amur Lande und auf Insel Sachalin</i> とそれ以降～	1994.01.17
37	樺太食虫植物史資料(4)～明治時代編 樺太国境画定以降の植物調査の躍進～	1994.01.18
38	樺太食虫植物史資料(5)～明治後期より大正時代編	1994.01.19
39	樺太食虫植物史資料(6)～大正時代・昭和時代	1994.01.19
40	樺太食虫植物史資料(7)～昭和時代編	1994.01.19
41	樺太食虫植物史資料(8)～昭和時代編	1994.01.20
42	樺太食虫植物史資料(9)～昭和時代編	1994.01.20
43	樺太食虫植物史資料(10)～昭和時代編	1994.01.20
44	樺太食虫植物史資料(11)～昭和時代編 小伝 菅原繁蔵(1) A BRIEF BIOGRAPHY OF SUGAWARA, SHIGEZO (I)	1994.01.21
45	小伝 菅原繁蔵(2) A BRIEF BIOGRAPHY OF SUGAWARA, SHIGEZO (II)	1994.01.21
46	小伝 菅原繁蔵(3) A BRIEF BIOGRAPHY OF SUGAWARA, SHIGEZO (III)	1994.01.21
47	小伝 菅原繁蔵(4) A BRIEF BIOGRAPHY OF SUGAWARA, SHIGEZO (IV)	1994.01.22
48	小伝 菅原繁蔵(5) A BRIEF BIOGRAPHY OF SUGAWARA, SHIGEZO (V)	1994.01.23
49	小伝 菅原繁蔵(6) A BRIEF BIOGRAPHY OF SUGAWARA, SHIGEZO (VI)	1994.01.24
50	小伝 菅原繁蔵(7) A BRIEF BIOGRAPHY OF SUGAWARA, SHIGEZO (VII) 東京の巖松堂社長波多野重太郎氏と私	1994.01.25
51	小伝 菅原繁蔵(8) A BRIEF BIOGRAPHY OF SUGAWARA, SHIGEZO (VIII) 食虫植物・道内分の情報 海外だより・ドイツ事情	1994.01.28

No.	題目	刊行
52	札幌市モエレ沼の公園造成～生物への配慮全く見られない自然破壊～	1994.02.08
53	樺太食虫植物史資料 補遺(1)～昭和三年京大附属樺太演習林とその附近の植物調査～ 海外だより・ドイツ事情(2)	1994.02.12
54	石狩浜の植物(2)～人造の沼も失われた自然環境の復元に一役～	1994.02.28
55	勇払郡ウトナイ沼～陸化と森林化が著しく進む～	1994.03.06
56	植物学上の幻の山名～カムイメトクヌプリとその古地図上の位置～	1994.03.25
57	北海道のミミカキグサ類～真の土着種はムラサキミミカキグサ一種のみ？	1994.03.28
58	過去十数年間の冬季間の月別平均気温の推移と寒地性タヌキモ類の開花との関係について	1994.04.01
59	アメリカで刊行された「泥炭地とミズゴケ詳説」 A Focus on Peatlands and Peat Mosses	1994.04.02
60	北海道の沼めぐり・食虫植物ガイド(1) 情報をお待ちしてます 幌向原野湿生植物群落その他～湿原保護の現状と矛盾～	1994.04.04
61	石狩低地帯篠津原野の開発～写真で見る湿原開発の歴史～	1994.04.07
62	北海道の湿原(15)上美唄学術自然保護地区 幻の花々とともに～壱町田湿地の四季 上山智子著・・・繊細な観察に基づいて書かれた異色の著書 なぜ変化多い？道産ムラサキミミカキグサの花の色	1994.04.15
63	古い教科書に見る食虫植物(1) - 三好学編「普通植物学教科書」より - 文献の紹介 江別市だより	1994.04.17
64	古い教科書に見る食虫植物(2) - 大日本図書(株)編「師範教科新制植物学」 日本列島湿原王国 - 明治20年代までは -	1994.04.20
65	米国本草図譜 - "PLANTARUM AMERICANARUM"に見る水生タヌキモの1種について 危機せまる勇払郡弁天沼湿原 神奈川県相模原市だより	1994.04.26
66	北海道の湿原(16) - 身近になった衛星写真 北海道の山中になお多数の湿原群 文献紹介 - 食虫植物にこだわらず広い立場より 入手困難な文献の求め方	1994.04.29
67	ごあいさつ 北海道食虫植物情報"NEPENTHES"の編集について 文学書のカバーの装幀に利用された食虫植物 これも略奪者か？	1994.05.01
68	特集北海道のムシトリスミレ - 発見の歴史・幻のムシトリスミレの道内記録について	1994.05.06
69	特集北海道のムシトリスミレ(2) 食虫植物培養 江別市だより	1994.05.07
70	"NEPENTHES" No. 65・68につき小宮定志先生より貴重な御教示をいただきました 文学書のカバーの装幀に利用された食虫植物(補遺) 古い植物図譜に見る食虫植物	1994.05.31
71	北海道で観察された水生タヌキモ類の垂直分布(1)	1994.06.03
72	北海道で観察された水生タヌキモ類の垂直分布(2)	1994.06.10
73	樺太食虫植物史資料(補遺II)	1994.06.12
74	樺太食虫植物史資料(補遺III)	1994.06.13
75	樺太食虫植物史資料(補遺IV)	1994.06.14
76	樺太食虫植物史資料(補遺V)	1994.07.01
77	樺太食虫植物史資料(補遺VI)	1994.07.02

No.	題目	刊行
78	樺太食虫植物史資料（補遺VII）	1994.07.03
79	樺太食虫植物史資料（補遺VIII） 本道出身の水草研究者 大滝末男氏 田村賞を贈られる	1994.07.05
80	「満洲水草図譜」のタヌキモはタヌキモではない ギアナ高地のミミカキグサ	1994.10.23
81	オーストラリアとの種子交換によって得られた食虫植物の種子 - 小宮博士より寄贈 新篠津産ホザキノミミカキグサ復活する	1994.10.23
82	1994年寒地性水生タヌキモ類の開花状況について 国土地理院の地形図と道路地図 北海道 - 10月の異常高温 タヌキモの殖芽展開 本葉も伸長	1994.11.01
83	北海道の湿原（17） - かつての石狩川下流域の湿原と新たに形成された湿原	1994.11.03
84	北海道の湿原（18） - かつての石狩川下流域の湿原と新たに形成された湿原（続編）	1994.11.04
85	北海道の湿原（19） - かつての石狩川下流域の湿原と新たに形成された湿原（第3報）	1994.11.05
86	戦後刊行になった千島列島の生物学に関する稀少文献について オーストラリアNSW食虫植物種子発芽試験その後の様子	1994.11.07
87	再生されつつある石狩町の水辺	1994.11.08
88	再生されつつある石狩町の水辺(2)	1994.11.09
89	オーストラリアNSW食虫植物種子発芽試験最終報告 生物の種保存戦略 - ミミカキグサ類や他の生物	1994.11.10
90	本草学の珍書を発見 = 「本草指南音引」について = 「千島列島植物図鑑」についての新知見	1994.11.15
91	1994年札幌近郊食虫植物踏査報告	1994.11.19
92	1994 年札幌近郊食虫植物踏査報告 II モウセンゴケの分布記録 東京荒川左岸下流にピオトープ公園を企画 1994年の猛暑と食虫植物の培養 北海道と本州の状況 オーストラリアNSW食虫植物発芽後の生育状況 - 特に <i>Drosera indica</i> - わが家のムシトリスミレの培養	1994.11.21
93	再び石狩川下流直線部右岸河川敷の湿原帯について 北海道の湿原（20）～雨竜沼湿原～	1994.11.24
94	激変する勇払地方低地帯の自然環境～開発の影響大きく～	1994.11.26
95	激変する勇払地方低地帯の自然環境 開発の影響大きく - 第2報	1994.11.29
96	1672年（寛文12年）刊「校正本草綱目」の食虫植物について	1994.12.04
97	札幌近郊食虫植物踏査報告（補遺）南幌町三重沼の歴史 北海道での栽培に適した外国産食虫植物（6）フクロユキノシタ - 冬の栽培管理	1994.12.10
98	「千島列島植物図鑑」 - 北部軍管区司令部副官室回覧本を入手 わが家の食虫植物培養 - 冬期のようす -	1994.12.12
99	1672年（寛文12年）刊「校正本草綱目」の食虫植物～修正記事～ 記事の修正とその重要性 道内古書店散歩	1994.12.18
100	大阪府豊中市だより 神奈川県相模原市だより 北海道江別市だより 南幌町三重湖の景 = 旧幌向村最後の食虫植物自生地 =	1994.12.21
101	下サロベツ原野のナガバノモウセンゴケ～開発のかげに放置状態～ 1994年の異常気候とガマの開花について 排水溝で見られるタヌキモ	1994.12.27
102	海軍省より刊行された「学海探求の指針」について	1994.12.29
103	北海道産モウセンゴケのはなし ギニア高地の食虫植物 <i>Brocchinia reducta</i> の培養について	1995.01.03

No.	題目	刊行
104	文献でさぐる昭和12年代の美唄原野の植物 - 特に中小屋東方の沼を中心として -	1995.01.04
105	= 新著紹介 = 日本歯科大学教授 食虫植物研究会会長 小宮定志著 食虫植物 その不思議を探る 誠文堂新光社版 ガーデンシリーズ「食虫植物ふしぎな魅力」(食虫植物研究会監修)をお持ちの方へ わが家の室内温室から - 1月の温室 -	1995.01.09
106	イワオヌプリ火山帯のUtricularia 百年のなぞ 歴史上一度しか調査されなかった道南幻の湿原植物記 = 舘脇 操著:「恵山岬に於ける植物景観」の紹介 =	1995.01.10
107	西暦2000年を目指して企画された二つの事業紹介 世界唯一の食虫植物園の開設について 本格的な植物図譜「北海道植物図譜」の刊行について 北海道で刊行された苦心の出版物「郷土研究」No.1~13	1995.01.12
108	洪水はん濫分布頻度・地質とムラサキミミカキグサの分布について~石狩川流域を中心として~	1995.01.14
109	東京都だより 南総食虫植物園の開設構想について 地質的な条件から見たムラサキミミカキグサの北進戦略 = 文献紹介 = 「水辺ビオトープ - その基礎と事例」	1995.01.17
110	北海道の湿原(21)ウトナイ沼北東部に見る小湿原 泥炭と食虫植物への利用の方途 日本最初の泥炭に関する専門書~時任一彦著:泥炭地改良及泥炭利用論~	1995.01.20
111	千島食虫植物史資料(1)地理的探検・物産調査時代	1995.01.28
112	千島食虫植物史資料(2)地理的探検・物産調査時代	1995.01.28
113	千島食虫植物史資料(3)明治時代編	1995.01.29
114	千島食虫植物史資料(4)明治時代編	1995.02.01
115	千島食虫植物史資料(5)明治時代編	1995.02.05
116	千島食虫植物史資料(6)明治時代編	1995.02.08
117	千島食虫植物史資料(7)明治・大正編	1995.02.10
118	千島食虫植物史資料(8)大正時代編	1995.02.12
119	千島食虫植物史資料(9)大正時代編	1995.02.15
120	千島食虫植物史資料(10)大正・昭和時代編	1995.02.17
121	千島食虫植物史資料(11)昭和時代編	1995.02.17
122	千島食虫植物史資料(12)昭和時代編	1995.02.18
123	千島食虫植物史資料(13)昭和時代編	1995.02.20
124	千島食虫植物史資料(14)昭和時代編	1995.02.23
125	千島食虫植物史資料(15)昭和時代編	1995.02.25
126	千島食虫植物史資料(16)昭和時代編	1995.02.29
127	千島食虫植物史資料(17)昭和時代編	1995.03.02
128	千島食虫植物史資料(18)昭和時代編	1995.03.10
129	千島食虫植物史資料(19)昭和時代編	1995.03.13
130	千島食虫植物史資料(20)昭和時代編	1995.03.16
131	千島食虫植物史資料(21)昭和時代編	1995.03.19

No.	題目	刊行
132	千島食虫植物史資料 (2 2) 昭和時代編	1995.03.20
133	千島食虫植物史資料 (2 3) 昭和時代編 千島食虫植物史資料 補遺 (1)	1995.03. __
134	千島食虫植物史資料 補遺 (2) 北海道での栽培に適した外国産食虫植物 (7) <i>Pinguicula sharpii</i>	1995.03.23
135	千島食虫植物史資料 補遺 (3)	1995.03.25
136	千島食虫植物史資料 補遺 (4)	1995.03.28
137	千島食虫植物史資料 補遺 (5)	1995.03.29
138	千島食虫植物史資料 補遺 (6)	1995.04.06
139	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1) ・出発前のとんだハプニング・ = サハリンの踏査行程 = 概略	1995.09.14
140	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (2) ・はじめて見るサハリン島～雲海の切れ目より～・黒川村の湿原～幻の食虫植物 <i>Pinguicula villosa</i> カラフトムシトリスミレを求めて～	1995.09.15
141	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (3)	1995.09.16
142	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (4) ・永世沼周辺部の植物相	1995.09.17
143	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (5) ・キャンプ地の朝	1995.09.18
144	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (6) ・密漁者たち	1995.09.22
145	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (7) ・黒川より栄浜へ	1995.09.23
146	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (8) ・承前 (黒川より栄浜へ)	1995.09.24
147	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (9) ・承前 (黒川より栄浜) ・栄浜の幻の珍花 = カラフトノウシヨクエゾエンゴサク (仮称) =	1995.09.26
148	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1 0) ・承前 (黒川より栄浜へ) ・出版案内	1995.09.26
149	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1 1) ・SOVETSKOYE奥の泥炭湿原とPODLESNAYE海岸附近の植物調査・DOLINSK植物園見学 - おばあさんに怒鳴られる!! - ・ロシア人もワラビを食う - レストランでの貴重な体験 - ・ユージノサハリンスクよりポロナイスクへ われわれの乗る汽車が無い!!	1995.09.28
150	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1 2) ・ (承前) ユージノサハリンスクよりポロナイスクへ・闇夜を走る窓あき列車・空の旅 - ポロナイスク (敷香) よりチリコロ (散頃) へ -	1995.10.01
151	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1 3) ・ (承前) 空の旅 - ポロナイスク (敷香) よりチリコロ (散頃) へ・空から見下ろす大湿原	1995.10.02
152	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1 4) ・樺太にもあった極地地形!! ～上空より発見された "POLYGON" ～	1995.10.04
153	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1 5) ・サハリンに何故できる極地地形ポリゴン・空の旅後半 = ポロナイ湿原上空よりチリコロへ =	1995.10.10
154	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1 6) ・幻の珍花 キバナクロユリ = 樺太植物史上の初発見 = ・北海道キバナクロユリ発見絶滅史	1995.10.10
155	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～ (1 7) ・ (承前) 北海道キバナクロユリ発見絶滅史・サハリンのキバナクロユリ	1995.10.13

No.	題目	刊行
156	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（１８）・北辺の貴婦人 - 世界のバイモ属から観た樺太のキバナクロユリ・山と沢の踏査、仮小屋あれこれ	1995.10.21
157	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（１９）・（承前）山と沢の踏査、仮小屋あれこれ・現地の人人との交流	1995.10.23
158	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２０）・サハリンでの植物民俗学的な取聴＝ワシリー氏に聞く＝・田中・西川氏 チリコロ川でルアー釣り	1995.10.24
159	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２１）・川島山を探索 - 伐採場に出る・船泊を経由しTAMARINKA川をさかのぼる・ミヤマハンショウヅルの美しいサハリン	1995.11.06
160	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２２）・豪快に走る払い下げ軍用トラック～おしりの皮がむける～・いまはむかしのチリコロ・川島山への旅	1995.11.08
161	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２３）・北樺太南端の村へ飛ぶ	1995.11.15
162	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２４）・北樺太南端の村へ飛ぶ（承前）	1995.11.15
163	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２５）・北樺太南端の村へ飛ぶ（承前）・大河ツイミ川・再びボロナイ大湿原へ飛ぶ～幻の食虫植物 <i>P.villosa</i> を求めて～	1995.11.15
164	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２６）・再びボロナイ大湿原に飛ぶ～幻の食虫植物 <i>P.villosa</i> を求めて～（承前）	1995.11.16
165	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２７）・再びボロナイ大湿原に飛ぶ～幻の食虫植物 <i>P.villosa</i> を求めて～（承前）	1995.11.18
166	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２８）・再びボロナイ大湿原に飛ぶ～幻の食虫植物 <i>P.villosa</i> を求めて～（承前）	1995.11.20
167	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（２９）・"NEPENTHES" No.155のサハリンのキバナクロユリにつき訂正記事・再びボロナイ大湿原に飛ぶ～幻の食虫植物 <i>P.villosa</i> を求めて（承前）	1995.11.23
168	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３０）・【訃報】～“幻の川島山”を知る原松次先生御逝去～・再びボロナイ大湿原に飛ぶ～幻の食虫植物 <i>P.villosa</i> を求めて～（承前）	1995.11.24
169	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３１）・再びボロナイ大湿原に飛ぶ～幻の食虫植物 <i>P.villosa</i> を求めて～（承前）・ユジノサハリンスクへ飛ぶ	1995.11.25
170	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３２）・チエホフ岳登山	1995.11.26
171	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３３）・チエホフ岳登山（承前）	1995.12.03
172	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３４）・チエホフ岳登山（承前）	1995.12.04
173	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３５）・チエホフ岳一峰頂上附近にパルナシウスが舞う	1995.12.04
174	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３６）・チエホフ岳登山（承前）	1995.12.05
175	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３７）・チエホフ岳登山（承前）・たくましき植物の素顔	1995.12.06
176	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３８）・サハリンのキバナクロユリ（補遺）・サハリン州立郷土史博物館の見学	1995.12.10
177	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（３９）・サハリン州立郷土史博物館の見学（承前）・サハリンの首都ユジノサハリンスクの印象	1995.12.13
178	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４０）・サハリンの首都ユジノサハリンスクの印象（承前）	1995.12.15

No.	題目	刊行
179	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４１）・サハリンの首都ユジノサハリンスクの印象（承前）・“おはようございます” - 美しいロシアの少女 -	1995.12.16
180	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４２）・旅中余話（１）「クルミをお食べなさい」・旅中余話（２）帰国前日の晩餐会	1995.12.17
181	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４３）・旅中余話（３） - 便利だが高額料金の直通国際電話料・旅中余話（４）独裁者「スターリンの栄光」実らず	1995.12.17
182	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４４）・踏査のための装備・踏査後 - 装備についての反省・踏査時期など	1995.12.18
183	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４５）・小宮博士採集サハリン産食虫植物標本記録・あとがき 文献紹介 玉貫光一著 樺太風土記 速報（食虫植物他）	1995.12.26
184	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４６） サハリン植物紀行（補遺 - １）・自然発火による森林火災・帰国後札幌の古書店に出現した樺太植物調査のナマ資料	1996.05.03
185	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４７） サハリン植物紀行（補遺 - ２）・サハリンの針葉樹 - 鈴谷岳頂上によじ登ったエゾマツの話	1996.05.05
186	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４８） サハリン植物紀行（補遺 - ３）・幻の食虫植物カラフトムシトリスミレの分布経路について・カラフトムシトリスミレの現世世界分布・分布型から見たカラフトムシトリスミレ・サハリンや南千島色丹島のカラフトムシトリスミレはどこからやって来たか	1996.05.10
187	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（４９） サハリン植物紀行（補遺 - ４）・サハリンや南千島色丹島のカラフトムシトリスミレはどこからやって来たか（承前）・釧路湿原の幻のムシトリスミレについて	1996.05.15
188	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（５０） サハリン植物紀行（補遺 - ５）・釧路湿原の幻のムシトリスミレについて（承前）・1995年「幻の食虫植物を求めて8日間の旅」で大部分未踏査となった内淵湿原・樺太名物ヤブカ対策ばなし	1996.05.20
189	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（５１） サハリン植物紀行（補遺 - ６）・樺太名物ヤブカ対策ばなし（承前）	1996.05.28
190	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（５２） サハリン植物紀行（補遺 - ７）・サハリン踏査前に通覧できなかった極珍の地質図・サハリンのチョウ - 新型につきさらに詳説	1996.06.02
191	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（５３） サハリン植物紀行（補遺 - ８）・サハリンのチョウ - 新型につきさらに詳説（承前）	1996.06.19
192	サハリンの旅～幻の食虫植物を求めて～（５４） サハリン植物紀行（補遺最終号）・千島列島・カムチャッカ・シベリア踏査の玄関としてのサハリン = 文献紹介 = カムチャッカの植物を日本語で書いた唯一の文献（単行本） 勇払郡植苗湿原でコタヌキモを採集（速報）	1996.06.24
193	江戸末期最大の日露語辞書「和魯通言比考」と食虫植物について	1996.07.05
194	勇払郡柏原東湿原 = 道所有保護地区となる = 新篠津湿原 = 最近の様子 "NEPENTHES" 刊行遅延のおわび 訂正のお知らせ	1996.10.03
195	石狩川下流右岸部の自然	1996.10.15
196	カルの天敵としてのタヌキモ類やその他の植物 - 文献紹介 - タヌキモに卵を産みつける魚類の話 新品のまま入手できた菅原繁蔵の「樺太植物図誌」原本	1996.11.03
197	サロベツ原野のナガバノモウセンゴケについての新情報 頓別原野のナガバノモウセンゴケについての新情報 日本最初の食虫植物の培養書から最新の培養書まで	1996.11.05
198	土木工事の穴の調査研究～知らしめるべし穴の効用～ 見られなくなった北海道産ヤチコタヌキモ	1996.11.07

No.	題目	刊行
199	空知郡北村所在「大沼」=開発により原始の姿を失う= 空知郡南幌町三重湖の最近の様子について 極貧栄養状態でタヌキモの栽培を長年月行うとどのように変身するか	1996.11.10
200	極貧栄養状態でタヌキモの栽培を長年月行うとどのように変身するか - 前号より -	1996.11.11
201	食虫植物研究会第二次樺太植物調査隊踏査行程 - Pinguicula spathulata を求めて樺太縦断の旅 -	1997.10.22
202	サハリン再訪のための準備 はるかなるサハリン再訪への旅立ち - 1997.6.25 - HOTEL LADA へ 雨あがらぬサハリンの空	1997.10.24
203	(前号の続き) 船泊へ飛ぶ=この道は、いつか来た道= 船泊山(g. TOMARINKA)にヘリを飛ばして踏査する	1997.10.25
204	「極東ロシア植物誌」に記録された Pinguicula spathulata の分布図をぬりかえる	1997.10.26
205	(前号の続き)	1997.11.01
206	(前号の続き) 大魚イトウをつりにヘリを飛ばすパイロット達	1997.11.01
207	(前号の続き) 流木に助けられる	1997.11.02
208	幻の川島山見つかる = 船泊山と川島山は同山異名 =	1997.11.03
209	船泊山を今度は徒歩で登る	1997.11.03
210	雪とヒトツバオキナグサ 高山植物(野生のネギ)入りのラーメンを食べる ヒグマの出没 写真撮影百態	1997.11.04
211	(前号の続き) 湿地帯のマルバムシトリスミレの観察 たき火をとり囲んで	1997.11.04
212	真夜中に耳をつんざくようなエンジン音 霧雨の朝を迎える - 植物観察・イワナづり	1997.11.05
213	(前号の続き) 散頃へ飛ぶ 南樺太カシボ岳へ飛ぶ	1997.11.06
214	(前号の続き) 荒廃していたカシボ岳	1997.11.06
215	(前号の続き) カシボ岳を中心とする諸峰及び周辺は景勝地	1997.11.07
216	踏査できなかった泥火山 森和男隊長・梅田衛氏等一行の泥火山調査	1997.11.07
217	カシボ岳 Gora Ugredarsk の踏査から得たもの 送られてきたカシボオキナグサの写真に感動 = 森和男隊長・梅田衛氏等一行による樺太踏査 = カシボ岳をあとにしユージノサハリンスクへ	1997.11.07
218	(前号の続き) = サハリン北行の旅 = ユージノサハリンスクよりオハへ オハよりはるかなるサハリン最北エリザベス半島へ	1997.11.08
219	(前号の続き)	1997.11.13
220	(前号の続き) 珍奇美麗な花で山は招く	1997.11.13
221	(前号の続き)	1997.11.13
222	樺太より新発見のエーデルワイス	1997.11.16
223	Gora Orlinaya 山よりエリザベス岬附近ナーラ河口へ 砂浜には絶えることなく続くヒグマの巨大な足跡	1997.11.16
224	(前号の続き) 最北のキャンプ地附近で花を咲かせていた植物 再び流木に助けられる	1997.11.17
225	(前号の続き) カとプヨの猛襲を受ける ナーラ河口より Gora Baklaniya バクラーニヤ山を往復	1997.11.20

No.	題目	刊行
226	(前号の続き) ダケカンバのすばらしい純林を通る 悪天候のためヘリは来ずナーラ河口に停滞 Gora Orlinaya 南ピークを踏査する	1997.11.21
227	(前号の続き) オルリナヤ南ピークを後に再びオハ空港へ オハ市について オハ市内のホテルに宿泊	1997.11.21
228	オハより NOGLIKI へ向う 大規模な森林火災跡を目前に見る オオタヌキモ <i>Utricularia macrorhiza</i> Le Conte の発見	1997.11.30
229	オオタヌキモ採集地を示す地形図と全体図	1997.11.30
230	(前号の続き) 道路沿いにエゾノツガザクラ ノグリキ市より Tymovskoye チモフスク市へ	1997.11.30
231	(前号の続き) チモフスク TYMOVSKOYE ロパーチン岳 GORA LOPARTINA 万事休す = 道路寸断 行く手を阻む = やみ夜の道を走り続ける	1997.12.04
232	(前号の続き) チャンギンスキー峠 PER CHAMGINSKIY の朝 チャンガ岳 GORA CHANGA alt.1511m を踏査	1997.12.04
233	地形図と全体図で示すチャンガ岳の位置	1997.12.04
234	(前号の続き)	1997.12.10
235	(前号の続き) 山の中のロシアの子 チャンギンスキー峠 二日目のキャンプ地 山奥の峠に現われた日本のチョウ類調査隊	1997.12.10
236	ジャコウジカやトナカイには会えず 松浦武四郎の著書と樺太産ジャコウジカの図	1997.12.10
237	(前号の続き) 幕末期のジャコウジカ専門図書の編纂	1997.12.11
238	最後のキャンプ地を後に チモフスク駅 ユージノサハリンスクへ 街の中のゴボウ花を売る女性	1997.12.15
239	(前号の続き) 鉄砲店を探して 珍本をほりだす 美術古董店・デパートめぐり	1997.12.17
240	サビロフ博士宅を訪問 サハリンを後にする = 出国のトラブル = 第2次サハリン植物調査を終えて	1997.12.18
241	(前号の続き)	1997.12.19
242	樺太の食虫植物(追録)・はじめに・樺太の水生タヌキモ類について・樺太のムシトリスミレ類について	1997.12.19
243	(前号の続き)・樺太のモウセンゴケ類について	1997.12.19
244	梅田衛氏撮影樺太植物写真の紹介(1)	1998.01.23
245	梅田衛氏撮影樺太植物写真の紹介(2)	1998.01.24
246	= 東野幌湿原を踏査する =	1998.06.13
247	東野幌湿原を踏査する = その2 = = 食虫植物栽培だより =	1998.06.20
248	NEWPIC M10 MACRO を試写してみました = 栽培植物の紹介を兼ねて =	1998.10.10
249	札幌市モエレ沼のタヌキモ その後のようす コイ科型の沼と魚類の産卵	1998.10.11
250	北海道登別市から発見された新出の中間湿原	1998.10.11
251	北海道より幻の食虫植物ホザキノミミカキグサの再発見 静狩湿原 最近13年間の変遷	1998.10.12
252	= オオタヌキモを探しに西部津軽半島を歩く =	1998.10.13

No.	題目	刊行
253	津軽半島産小型オオタヌキモについて 北海道の食虫植物 現状不明の地	1998.10.15
254	サハリンのムシトリスミレ類の生態について サハリンの珍奇植物 北米アルバータ州のオオタヌキモ	1998.10.16
255	水生の UTRICULARIA は "Floating" とは限らない (I)	1998.10.16
256	水生の UTRICULARIA は "Floating" とは限らない (II) 最も花期が短かった北海道のムラサキミミカキグサ	1998.10.17
257	水生の UTRICULARIA は "Floating" とは限らない (III) 「青森県植物分布図集」第2集が送られてきました	1998.10.20
258	青森県根井村以北小河原沼附近湿原史上の珍図 (1)	1998.10.27
259	青森県根井村以北小河原沼附近湿原史上の珍図 (2)	1998.10.27
260	踏査されていなかった北海道鶴川町の海岸附近	1998.10.28
261	寿都郡黒松内町に新出の低層湿原その1	1999.05.15
262	寿都郡黒松内町に新出の低層湿原その2 モウセンゴケ平湿原 = 湿原雑談 =	1999.05.15
263	寿都郡歌才高層湿原を踏査 1998年 N. Sakhalinで採集のカラフトムシトリスミレの栽培状況 踏査機材ニュース	1999.05.16
264	北海道におけるDarlingtoniaの栽培 N. Sakhalin エリザベート半島で採集したLeontopodium sp.と既知種との比較培養	1999.05.26
265	タヌキモとオオタヌキモを越冬芽で同定することの有効性 弁天沼北西岸に広がる裸地状泥炭湿原 水生タヌキモ類の生活型につき一部訂正	1999.05.29
266	勇払郡松の沼を踏査 日本最大のヒメタヌキモの群生地を確認	1999.07.01
267	頓別原野のナガバノモウセンゴケ = その保存対策 = 仮称「汐見湿原」のもう1種のヒメタヌキモ	1999.07.04
268	北海道よりムラサキミミカキグサの新自生地を発見	1999.07.14
269	北海道における水生タヌキモ類の垂直分布 1999年 北海道における水生タヌキモ類の開花	1999.07.15
270	Utriculariaの採集と自然保護 = 採集・放流の試みとその成果 江別市のヤチコタヌキモ間一髪で救出 弁天沼のムラサキミミカキグサ	2000.01.04
271	オオタヌキモ連載 No.1 オオタヌキモの開花 オオタヌキモがよく開花する環境は?	2000.01.05
272	オオタヌキモ連載 No.2 オオタヌキモ = そのGenitalな変異をタヌキモと比較して =	2000.01.12
273	オオタヌキモ連載 No.3 オオタヌキモ 変異をタヌキモと比較して = オオタヌキモがコタヌキモと誤同定されるのはなぜか =	2000.01.12
274	最近に見るタヌキモに関する新知見	2000.01.15
275	北海道におけるヒメタヌキモ ヒメタヌキモにも歯状突起がある	2002.09.19
276	Pinguicula gigantea 高速度増殖法 Utriculariaの葉型と環境との関係	2002.09.22
277	Utriculariaの葉型と環境との関係 (II)	2002.09.23
278	Utriculariaの葉型と環境との関係 (III) 北海道におけるフトヒメタヌキモ新産地 RICA ERICKSONの美しい書物	2002.09.25

No.	題目	刊行
279	古い文献と食虫植物	2003.06.01
280	古い文献と食虫植物 II	2003.06.02
281	特集：食虫植物の歴史（1884-1936年）	2003.06.06
282	NEPENTHES 一部訂正のこと サハリン最新情報	2003.09.20
283	前号より「サハリン最新情報」の続き 樺太原色高山植物絵葉書のこと 格物鎖言 巻一の出現について	2003.09.21
284	北海道におけるハエトリソウ等の最も安全な越冬法 古い文献と食虫植物 III	2003.09.22
285	古い文献と食虫植物 IV	2003.09.25
286	古い文献と食虫植物 V	2003.09.26
287	古い文献と食虫植物 VI 中国版＜植物学＞筆者現代語訳	2003.09.27
288	古い文献と食虫植物 VII - 分類学書の中の食虫植物 -	2003.09.27
289	古い文献と食虫植物 VIII - 混迷したタヌキモ科 -	2003.09.28
290	古い文献と食虫植物 IX	2003.09.30
291	NEPENTHES表記上の改善について 巨大地震とわが家の食虫植物 古い文献と食虫植物 X NEPENTHES訂正のお知らせ	2003.10.06
292	古い文献と食虫植物 XI - 特に中国版植物学と翻刻植物学との比較について - 両文献 の酷似性と大きな相違点	2003.10.07
293	古い文献と食虫植物 XII - 特に中国版植物学と翻刻植物学との比較について - (続 編) 古い文献と食虫植物 XIII - 1879 (明治12年) から最近までの食虫植物種数の補訂 -	2003.10.16
294	古い文献と食虫植物 XIV - 李善蘭書植物学のなかの食虫植物の種名 - 古い文献と食 虫植物 XV - 特に中国版植物学と翻刻植物学との比較について - (続・続編) - (1)翻刻 植物学の彫師判明(2)文献の比較から印刷方法・技法の特定まで	2003.10.16
295	古い文献と食虫植物 XVI - 特に中国版植物学と翻刻植物学との比較について - 続続続 編(3)原装の比較から見る違い(4)翻刻植物学の性格とその発展	2003.10.17
296	古い文献と食虫植物 XVII - 特に中国版植物学と翻刻植物学との比較について - 続続続 続編	2003.10.18
297	古い文献と食虫植物 XVIII - 牙子 初學須知 (明治8年) 田中耕三訳につき判明したこ と - 古い文献と食虫植物 XIX - 翻刻植物学に別本があるらしい -	2003.10.19
298	カンバ沢湿原に学ぶこと 環境が酷似する原始ヶ原湿原 カンバ沢での生態解明に期 待 室内温室だより	2003.10.20
299	ナガバノモウセンゴケの栽培 チェコスロバキア及び日本産ナガバノモウセンゴケに 見る性質の違いについて ムシトリスミレ <i>P. macroceras</i> の栽培 - 日本産 (北海道産・四 国産)・アラスカ産の性質の違い - ムシトリスミレみたいなスミレの話	2003.10.20
300	北海道産の大形タヌキモ類について	2003.10.21
301	福井県植物誌からタヌキモが消えた 北海道産食虫植物の最近のtaxon 4面性タヌキ モ類の葉形は2面性のものとは根本的に異なる	2003.10.22
302	ムシトリスミレの山	2005.06.26
303	ヒメタヌキモの生態	2005.07.01

No.	題目	刊行
304	ヒメタヌキモの生態 - 生態型と適応型との区別 - 無捕虫のうタイプのタヌキモについて NEPENTHES刊行の遅延についてのおわび	2005.07.02
305	耐寒力で最強のDIONAEA	2005.08.03
306	珍文献：戸隠植物目録を紹介 最強のDionaea開花	2005.08.16
307	日本写真史に現れた食虫植物マニア 食虫植物本の周辺	2005.08.16
308	食虫植物本の周辺 II	2006.08.18
309	= 前号より続く = 保存状態の評価	2006.09.15
310	食虫植物本の周辺 III ムジナモ栽培 NEPENTHES刊行につき	2006.10.22
311	DARWIN(1875)：食虫植物 - 初版入手記 蔵書印について	2006.12.09
312	食用となった食虫植物の話 愛知県下 ナガバノイシモチソウ 名古屋博物学会について	2007.01.06
313	栽培品の紹介 文献紹介の追加	2007.01.09
314	続名古屋博物学会 北海道産の赤いコタヌキモ 総目録の作成について（予告）	2007.01.11
315	俗称樺太川島山を中心とする軍事秘密地図の紹介	2007.01.11
316	俗称樺太川島山を中心とする軍事秘密地図の紹介 続編・佐々保雄博士が使用した地図と本図との関係 軍事秘密地図の作成まで・古地図研究による調査 長崎県博物研究会会報について	2007.01.21
317	長崎県博物研究会会報について - 続き 千葉氏のムラサキミミカキグサ - 九州よりの初記録説について 長崎県植物誌 - 長崎県植物分布資料と食虫植物	2007.01.24
318	北海道食虫植物情報 "NEPENTHES" 総目次	2008.05.16
319	続き	2008.05.16
320	続き	2008.05.17
321	ムシトリスミレの葉挿し増殖について 水生タヌキモ類の泥生枝と生存戦略 予告：DVD チベット・雲南省の旅 - 食虫植物探査 -	2008.05.17
322	ムシトリスミレの山 最近の様子 ヒメタヌキモ・チビヒメタヌキモについて	2008.05.31
323	ムシトリスミレの山 最近の様子 2 2008年ムシトリスミレの山の様子 ケイ砂を与えた子株増の効果	2008.07.11
324	P. grandifloraの偽葉上生寄生体 pseudoepiphylllyの個体維持のために ムジナモ栽培の近況 NEPENTHESの刊行部数	2008.07.12
325	牧野富太郎とモウセンゴケ図 (1)牧野富太郎の個人誌 (2)牧野富太郎のモウセンゴケ図	2008.07.13
326	北海道新聞より 2008.10.10付 夕刊 / 道内は好環境 / 広い自生地 開拓期には輸入栽培	2008.10.13